

# 浩然

「ふるさとを愛し 自他を大切に  
たくましく未来を拓く生徒の育成」  
香美町立村岡中学校通信  
No. 13 2018. 3. 6 (Tue.)

## 「あたりまえ」のことに感謝を！

感動をもらった平昌オリンピックが終わりました。私は、小平奈緒選手の言葉力に特に感心したのですが、その中でも「スケートをすることは、私にとって学びです」という言葉に深く感銘を受けました。結果ではなく、自分の成長の証として競技を捉え、そのあと「生き方」にまで言及していました。2位の選手との、お互いを認め讃え合った小平選手や、悔しい結果に終わった直後、後輩のメダルに自分のことのように喜んだ伊藤有希選手の人間力にも涙が出ました。また、カーリング選手たちのはじけるような「笑顔」も印象的でした。羽生結弦選手が何度も使った「幸せ」という言葉には、仙台出身で東日本大震災に練習中に被災し、4日間避難所で過ごしたこと、そして被災した方々への思いが重なっているのだな、と強く思いました。

さて、学校ではいよいよ今週末の9日に卒業式を控え、忙しい毎日ですが、その東日本大震災から間もなく7年が経とうとしています。その震災があった年の6月、新聞にこんな投書がありました。

貧しい国の人たちに「今、幸せですか？」と尋ねると「今日のご飯が食べられたから幸せです」と答える。日本で同じことを尋ねても「幸せです」と答える人は多くはない。

これは、私が高校生の時に先生から聞いた話だ。きっと人は一度大きな幸せを知ると、それよりも小さな幸せを「幸せ」と考えられなくなるのだろう。しかし東日本大震災をきっかけに、これまでの「あたりまえ」を「幸せ」だとあらためて思うことができた。支えてくれる人がいる。雨風をしのげる家がある。ご飯が食べられる。物事を学ぶことができる。これらは、あたりまえのことではなく「幸せ」なことだ。私の住む地域では地震の影響はほとんどない。その中で私たちは大震災を忘れることなく、今ある「あたりまえのこと」に感謝しながら、一日一日を精一杯生きていく。「幸せですか」と聞かれ、「幸せです」と即答できる、そんな生き方をしたいと思う。

幸せかどうかは、あたりまえのことに感謝の心が持てるかどうかである、この方は言っています。私もそう思います。

「ありがとう」の反対の言葉はなんでしょう？「あたりまえ」です。私たちの周りは、あまりにもあたりまえになってしまっていて、有り難さを感じないことに溢れています。しかし、そのどれもがあたりまえのことではありません。

元カメラマンで、現在NPO法人アジアチャイルドサポートの代表をされている池間哲朗さんの講演を聞く機会がありました。池間さんは、約20年ほど前訪れたアジアの貧しい地域で、そこに暮らす10歳くらいの女



(卒業お祝い給食 3-2)

の子に「あなたの夢はなんですか？」と尋ねました。するとその女の子はこう答えたそうです。「私の夢は、大人になるまで生きることです。」

心に突き刺さるような言葉です。その子が病気だからではありません。大人になれず亡くなっていく子どもがたくさんいる。そんな過酷な環境の中で生活している子です。学校にはもちろん行っていません。ですが、明日も生きるために、今日一日を精一杯生きている子です。この子の言葉は、私たちの「あたりまえ」を根底からひっくり返すような言葉です。池間さんは、この言葉を聞いて人生が変わるほどの衝撃を受けたと言っていました。今までの自分の生き方を振り返り、涙が止まらなかったそうです。そして、今日一日を真剣に、精一杯生きていく決意をします。私も同じ気持ちになりました。不平不満を言うよりも、あたりまえのことに感謝して、今日という日を一生懸命生きなければいけない。そう思いました。ご飯が食べられること、勉強ができること、仲間がいること、帰る家があること、家族がいること。こうしたことの全てがあたりまえのことではありません。周りの人や物、環境に、アスリートたちも言っている「感謝」の気持ちが持てると、自分一人ではないので、困難なことがあっても頑張ろうという気持ちになります。

卒業は巣立ちのときですが、実は支え、見守ってくださった方々への感謝の式でもあります。今までの感謝と、これからの決意に満ちたすばらしい卒業式に！

## H30年度 生徒会役員決定！



来年度の生徒会役員立会演説・投票が行われました。立候補者も責任者もみな堂々たる演説でした。新年度から任期が一年間になることが、先の臨時生徒総会で決定しました。長丁場ですがじっくり粘り強く取り組めるかと思えます。新執行部を中心にますます生徒会活動が活性化しますよう、願っています。よろしくお祈りします。

生徒会長 岡田 翔和  
副会長 西垣 将碩  
西井友里奈  
書記 岡沢 実里

(文責：才田 覚)

## 運動・文化面での活躍

☆但馬中学校卓球1年生大会 (2/4 養父市八鹿総合体育館)  
女子シングルス 優勝 今岡 未貴(1年) 3選手は  
ベスト16 岸 奏実(1年) 県1年生大会  
男子シングルス 第4位 福井 峻(1年) へ進出



(選手宣誓をする今岡さん)

◎但馬中学校書き初め大会  
特選 岡本 歩望(3年) 岸本 梨音(3年)  
入選 西垣 佳華(3年) 西井友里奈(2年) 井上 瑠菜(1年)  
佳作 岡沢 実里(2年) 中村 優月(1年)

◎香美町児童生徒表彰 (3/7 香美町役場にて表彰式)  
町長賞 中村 祐希(兵庫県・近畿スキー大会 S L, G S L 各第1位)  
教育長賞 女子スキー部(兵庫県中学校スキー大会 女子総合第2位)  
坂本 歩崇(兵庫県スキー大会 S L 第3位)

「目を閉じて耳を澄ませて 君の声きみの笑顔を 心に刻む」

